

市川 睦月

九重から見た市川の印象

- もの静かで、何か思いつめた雰囲気があった。
- 21日昼頃に顔色が悪く具合が悪そうだった。
- すまない と言われたが、心当たりはない

時系列

3月21日
AM

館に到着

※正確な時間は分からないが、朝食の片付けをしていたため8時頃と思われる

3月21日
昼食後

顔色が悪い市川を見た

※理由は尋ねたが、答えは聞けなかった。

3月22日
朝

談話室で遺体となって発見された

遺体発見時

メモ

3月22日

朝に談話室の植物へ水をあげに行こうとした九重が
首があらぬ方向に曲がっている市川を発見。

第1発見者：九重 弓香

この館に探し人がいたらしい。

ただ、名も顔も分からないようで、九重にも「私を知っているか」と最初に聞いてきたそう。

遺体発見時の館にいた人

- ~~ノ瀬 イチカ（いちのせ いちか）~~ ※まだ館に到着していなかった
- ~~双葉 宗次（ふたば そうじ）~~ ※まだ館に到着していなかった
- 二戸 仁（にと じん）
- 生三 宮（いくみ みや）
- 三田 満美（みた みつみ）
- 詩志麻 司馬（ししま しま）
- 御膳 檣檣（ごぜん ごご）
- 陸良 ゼスク（ろくりょう ぜすく）
- 志知沢 七（しちさわ なな）
- 九重 弓香（ここのえ ゆみか）
- 8番の招待客？

二戸 仁

九重から見た二戸の印象

- 少し怖い印象を受けたが、話しやすい方だった。
- 御膳さんが気になるようで、よく話しかけに行っていた。
- 終始、にこやかだった。

時系列

3月21日 夕方	館に到着 ※招待ありがとうと言われ、手を握られ顔を覗き込まれた
3月21日 ～ 3月22日	御膳とよくいる二戸を見た ※どちらかという付きまとっているという感じだった
3月23日 朝	2の部屋で遺体となって発見された

遺体発見時	メモ
3月23日 朝食の時間を過ぎても食堂に現れず、 2の部屋の鍵もかかっていたためマスターキーを持つ九重 が部屋を開けた。部屋にもいないように思えたが、バス タブに沈む二戸を発見した。 第1発見者：九重 弓香	九重に向かって、しきりに招待ありがとう。最高だよ と言っていたが、お礼を言われる理由が分からなかつ た。

遺体発見時の館にいた人

- 市川 睦月（いちかわ おつき）※すでに死亡
- ノ瀬 イチカ（いのせ いちか）※まだ館に到着していなかった
- 双葉 宗次（ふたば そうじ）※まだ館に到着していなかった
- 生三 宮（いくみ みや）
- 三田 満美（みた みつみ）
- 詩志麻 司馬（ししま しま）
- 御膳 檣檣（ごぜん ごご）
- 陸良 ゼスク（ろくりょう ぜすく）
- 志知沢 七（しちさわ なな）
- 九重 弓香（このえ ゆみか）
- 8番の招待客？

生三 宮

九重から見た市川の印象

- 優しそうで明るい方だった
- 恋人の三田とはとても仲がよさそうに見えた
- 食事を作る際には、手伝ってくれたりもした

時系列

3 月 20 日 夕方	館に到着 ※三田も一緒 ※正確な時間は分からないが、3 時頃だった気がする
3 月 20 日 夕食前	重度のアレルギーであることを聞いた ※食品棚にアレルギー製品のため使用禁止の札をした
3 月 24 日 朝	食堂で遺体となって発見された

遺体発見時	メモ
3 月 24 日 九重が食堂で生三が倒れているのを発見。朝食の時間でもあったため、人はすぐ集まった。蘇生を試みようとしたが、すでに体は冷たく死んでいた。 第1発見者：九重 弓香	アレルギーで死んだという話を聞いたが私はやっていない。確かに、夕食も作ったが、生三からアレルギーの話を聞いた直後に対象の食材を使用しないように分けたので問題ないはずだ。

遺体発見時の館にいた人

- ~~市川 睦月（いちかわ おつき）~~ ※すでに死亡
- 一ノ瀬 イチカ（いちのせ いちか）
- 双葉 宗次（ふたば そうじ）
- ~~三戸 仁（にと じん）~~ ※すでに死亡
- 三田 満美（みた みつみ）
- 詩志麻 司馬（ししま しま）
- 御膳 檣檣（ごぜん ごご）
- 陸良 ゼスク（ろくりょう ぜすく）
- 志知沢 七（しちさわ なな）
- 九重 弓香（ここのえ ゆみか）
- 8 番の招待客？

九重 弓香 聴取-0328

普段は大学生をしている。家に案内が来た。怪しいバイトだとは思ったが給料の良さなど、いろいろな状況が重なって働くことにした。元々、10日間程度の住み込みとして聞いていたが人が死ぬなんて聞いていない。

館にいる人について

人物	印象	死体発見の前後話
市川 睦月	悩んでいる印象でした。すべて自分のせいだって。	部屋に居ました。
一ノ瀬イチカ	・・・優しいとは思いますが、同時に怖い時もあります。なぜかわからないのですが	
二戸 仁	なんというか、おかしい方というか、不自然というか、あまり言葉にできないのですが。	部屋に居ました。
双葉 宗次	そうですね。優しい人でなにか迷ってらっしゃるといふかそういう印象です。	
生三 宮	優しい人でしたよ。三田さんとも仲睦まじい姿をみました。	部屋に居ました。
三田 満美	なにか手伝いをしてあげたいのですが、三田さんがそれを求めているか分からなくて。	部屋に居ました。
詩志麻 司馬	寂しそうな人でした。わざと人に嫌われようとしているように見えました。	部屋に居ました。
御膳 檜檜	小さいのにすごく頑張っていて、でも、あんなに落ち着いていることが少し怖いです。	部屋に居ました。
陸良 ゼスク	落ち着きがあって私たちを客観視しているというか。	
志知沢 七	まるで弟のような人です。お食事の準備をよく一緒にしてくれます。	部屋に居ました。
????? (8の客)	もしいるなら私よりも早くついているはずです。	
九重 弓香		

館へ来た日

メモ

3月19日
案内状をもとにやってきた。その日は館の部屋の確認とそれぞれの客室の掃除をした。窓に関しては不用意に空けないこととあったため開けていなかった。

どこかさがるとような視線を感じる。大丈夫か？と声をかければ、「信じています」と小さな声で言われた。

九重 弓香から聞いた時系列

日付	訪れた人	その日のこと
03/19	九重 弓香	九重到着。 館には誰も居らず、用意された部屋「9の部屋」にこの館のマニュアルがあり、それをもとに仕事をする準備をした。
03/20	生三 宮 三田 満美 陸良 ゼスク 志知沢 七	4人が訪れた。一緒に訪れたのは、生三と三田のみ。 この日に志知沢がカーテンを開け、この館がおかしいことに気が付いた。外に出られないこともこの日に知った。
03/21	市川 睦月 二戸 仁 詩志麻 司馬 御膳 檣檣	朝、アナウンスが流れ3月29日の朝に扉が開くことを聞いた。 外へ出られないか探したがどこも外へは出られそうになった。この日には新しく4人訪れた。それぞれ、皆バラバラに来た。
03/22	誰も来なかった。	朝、市川が遺体となった。
03/23	一ノ瀬 イチカ 双葉 宗次	朝、二戸が遺体となった。 昼過ぎに一ノ瀬と双葉が訪れた。
03/24	(探索者の名前)	朝、生三が遺体となった。